

中心市街地活性化ビジョンに係る第3回説明会

中心市街地活性化に係る未来共創対話 —駅周辺整備事業を軸に—

本日の目的地

◆本会のコンセプト

駅前整備の説明を軸としつつ、行政と市民の皆さんが、中心市街地の共通の未来像をあらためて描き出す場

「駅前整備をきっかけに、まちをどんな風にしていきたいですか？」

「まちのために、行政がすべきこと・皆さんがしたいこと」

◆進め方

- (1) 開会挨拶
- (2) ファシリテーター紹介
- (3) 豊後竹田駅周辺整備事業について
- (4) 中心市街地で展開する各事業
- (5) 対話セッション
- (6) クロージング
- (7) 閉会

駅前を核とし、まちへ人の流れをつくる

豊後竹田駅周辺整備事業について

説明の流れ

プロローグ 竹田市の現状と未来像

第1章 なぜ、いま、駅前整備なのか

第2章 実態から探る整備の方向性

第3章 具体案

第4章 今後、市民の皆さんの力を貸してほしいこと

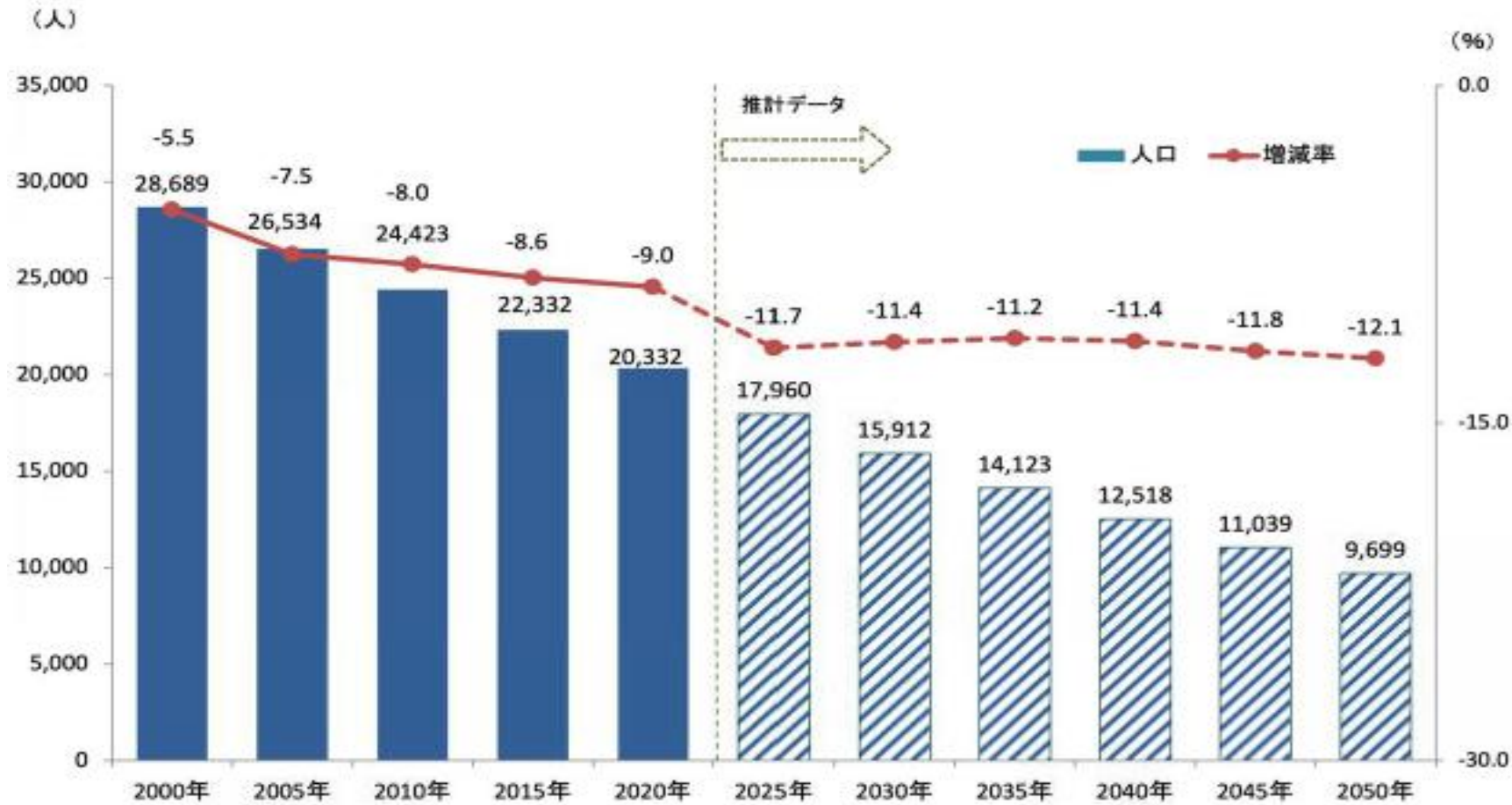
プロローグ

竹田市の現状と未来像

竹田市の現状と、市が描くまちの将来像を、お話しします。

竹田市の総人口

25年後には1万人を下回る

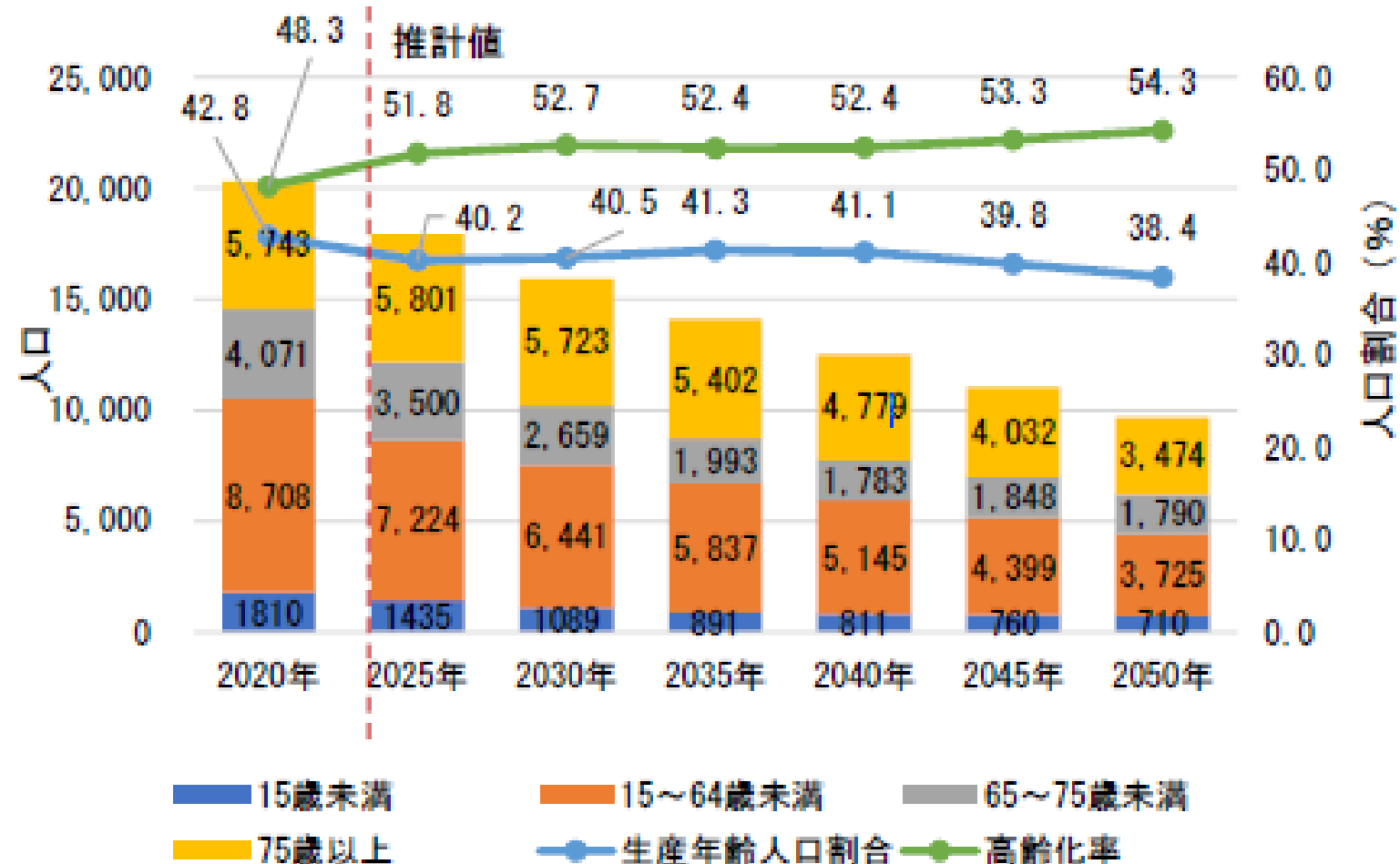


資料) 総務省「国勢調査」

2025年以降の推計データは国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2023年12月)」

竹田市の高齢化率

25年後には
生産年齢人口はほぼ半減
75歳以上の割合32%⇒38%



人口減少の時代

今、すべきこと

1：人口減少を緩やかにする

- ・ 自然増（出生数）を増やす
- ・ 社会減（転出）を減らす

} 限界がある

2：交流人口（竹田とつながる人）を増やす

- ・ 竹田市以外の人を使うお金が、住民サービスの財源となる
- ・ 将来的な社会増（転入）につながるかも

3：人口が減っても暮らしやすいまちをつくる

- ・ 人口が減っても生活を維持する仕組みづくり・基盤づくり
- ・ 地域経済の維持

交流人口を増やすために

◆交流人口増に向けた戦略の方向性

- ・ 観光客受け入れ環境の整備
- ・ 地域資源の磨き上げとブランド化
- ・ 地域の魅力を引き出す観光プロモーション
- ・ 多様な視点で地域を魅せる情報発信
- ・ 回遊性を高めるまちづくり

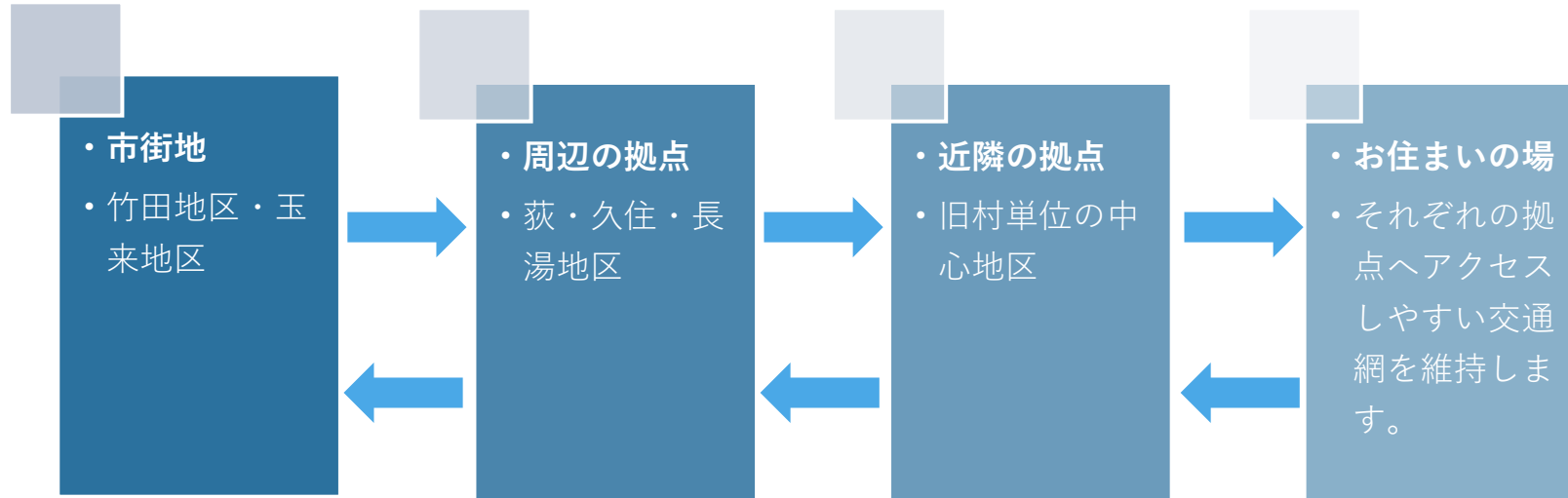
人口が減っても、暮らしやすいまちへ

◆滞りなく生活をするために必要な機能

- ・ 買い物
- ・ 病院
- ・ 行政サービス 等

◆これらを維持するために

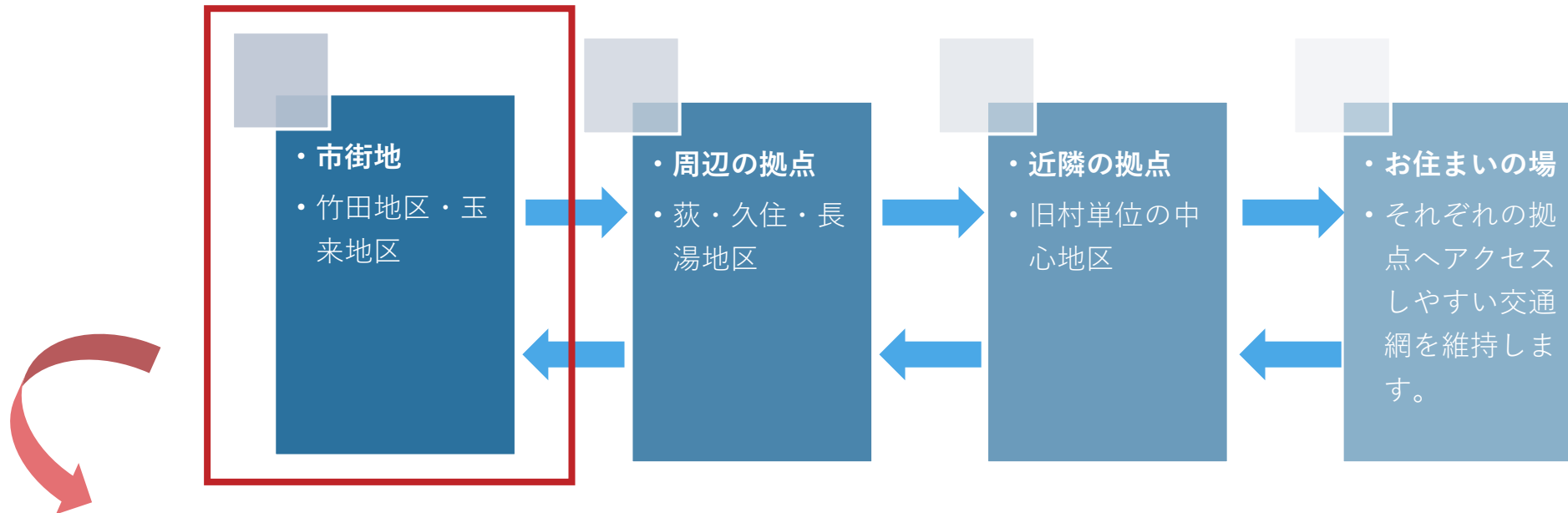
- ・ まちの拠点を決めて、それぞれ機能の維持を図る
- ・ 容易にアクセスできるよう、交通網の維持を図る



第1章

- ・ **なぜ、いま、駅前整備なのか**
- ・ 実態から探る整備の方向性
- ・ 具体案
- ・ 今後、市民の皆さんの力を貸してほしいこと

持続性を支えるのは、人の流れをつくり、維持すること



医療・商業・金融・行政サービス・文化施設・店舗・歴史資源が集積
＝生活利便性に直結 & 来訪者が回遊できる環境が既にある

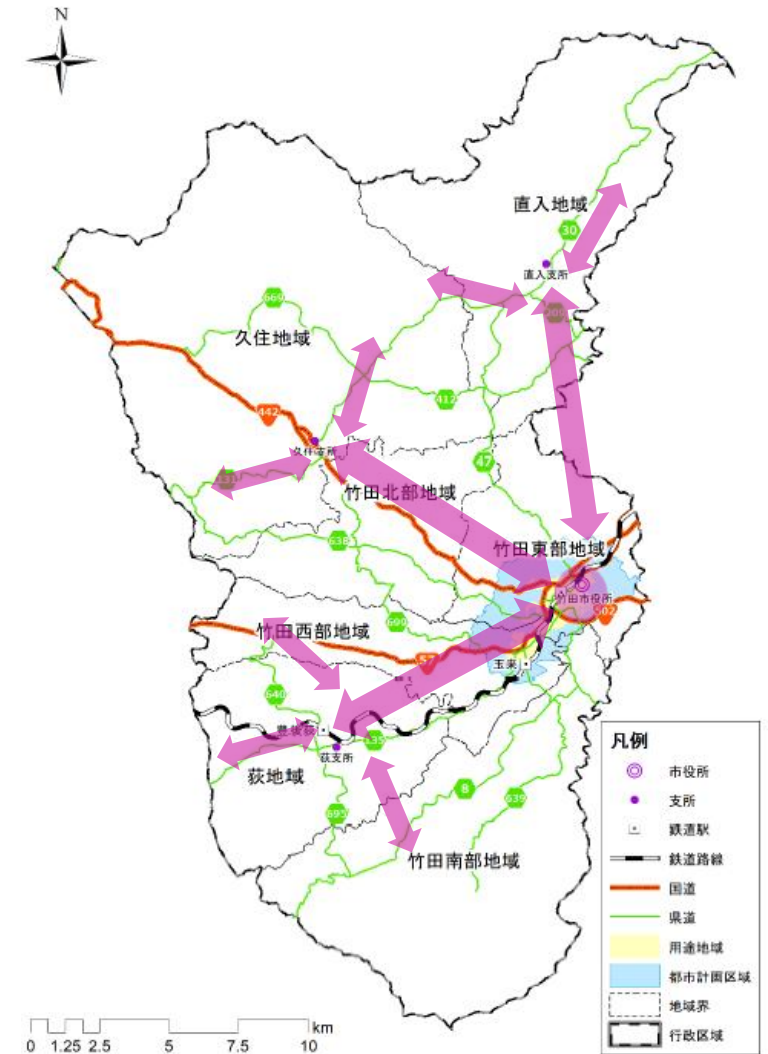


持続するためには、人の流れをつくり、維持する必要がある

拠点同士をつなぐ「結節点」であり、 来訪者にとっての「玄関口」である駅前

- ◆駅前は、市内各地を交通で結び付ける場所
- ◆駅前は、来訪者が最初に立つ場所
- ◆駅前は、中心市街地の入り口でもある場所

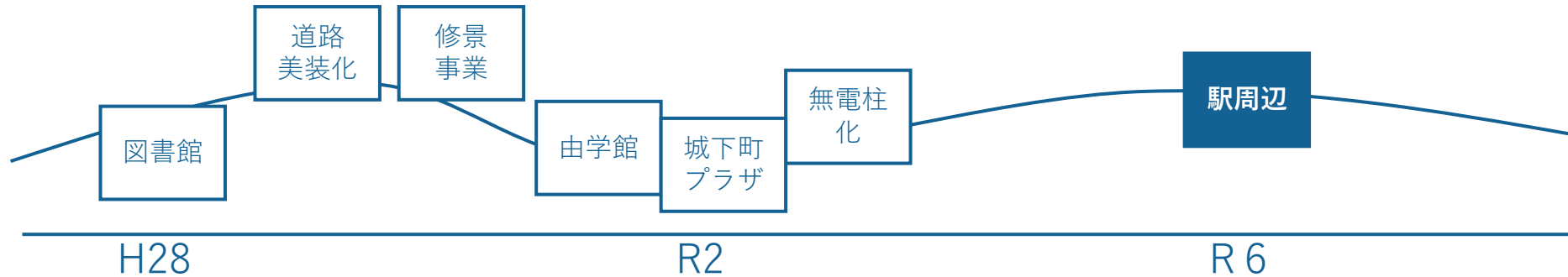
駅前を核とした人の流れが、
まちの持続性を支える



よくある疑問：駅前整備ってなんですか？

- ・なぜ、ほかの施設でなく豊後竹田駅なのか？

⇒これまで中心市街地で行われてきた「回遊するまちづくり」の「結節点」



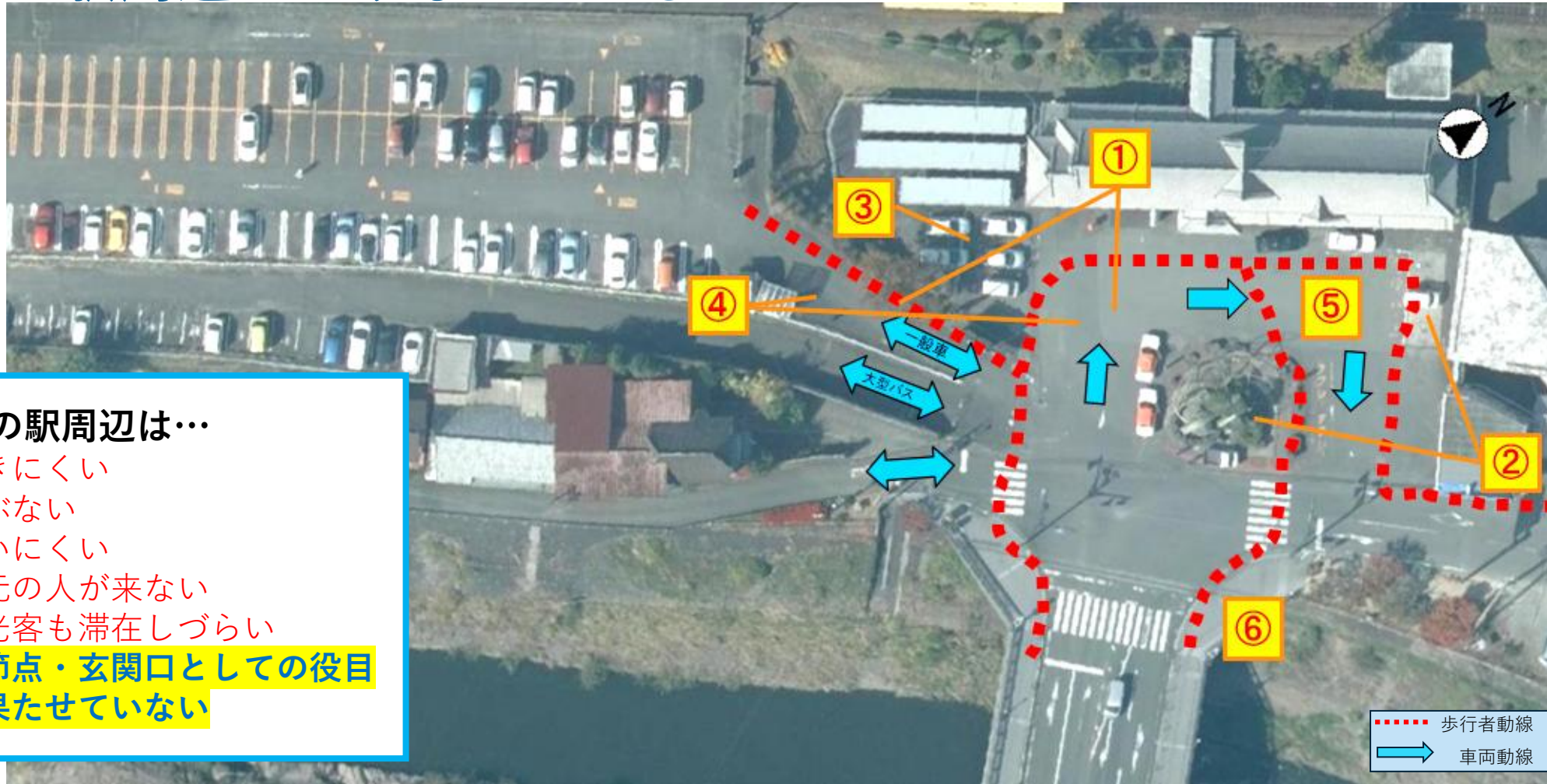
- ・私は、駅を使ってないんだけど？

⇒車依存度の高い竹田市だが、将来高齢化が進むと車依存のみでは地域の生活を維持できない。車＋歩行＋公共交通＋次世代モビリティを組み合わせる生活を今から構築する必要がある。

- ・本数も少ないし、将来は廃線になるのでは？

⇒駅が拠点であることは変わらない

現在の駅周辺はどうなっている？



現在の駅周辺は…

- ☹️歩みにくい
- ☹️あぶない
- ☹️使いにくい
- ☹️地元の人ที่ไม่来ない
- ☹️観光客も滞在しづらい

⇒結節点・玄関口としての役目を果たせていない

①歩道がなく危険



②設備の老朽化



③待機スペースの不足による混雑



④使いづらく、敬遠される交通空間



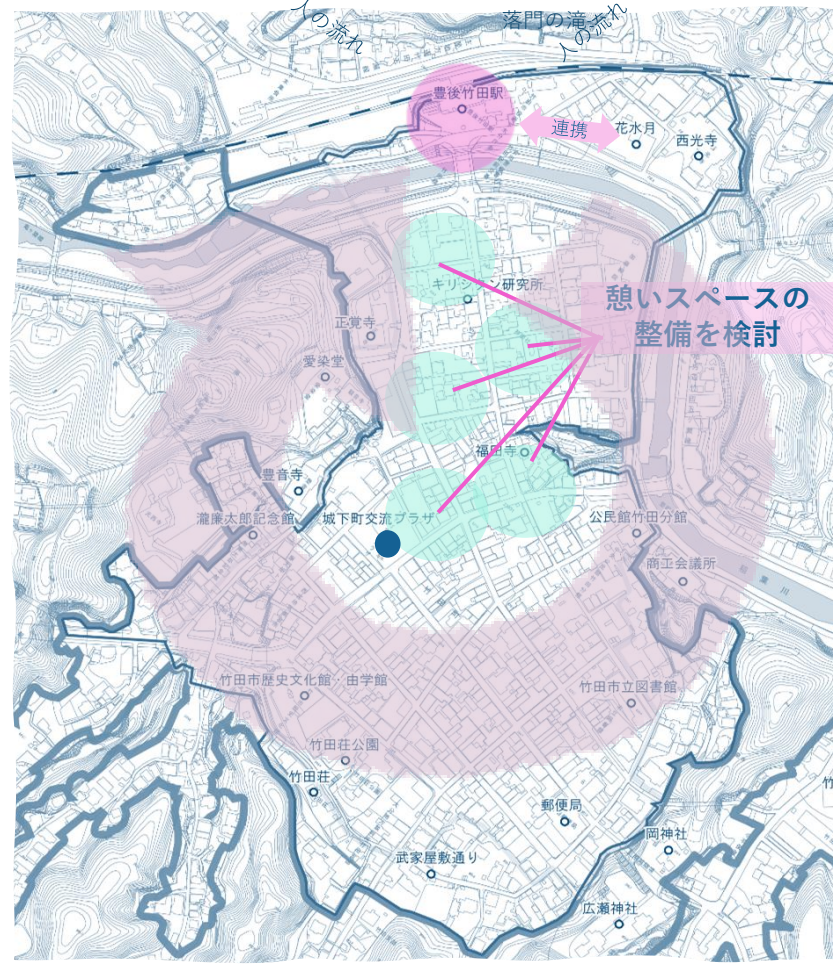
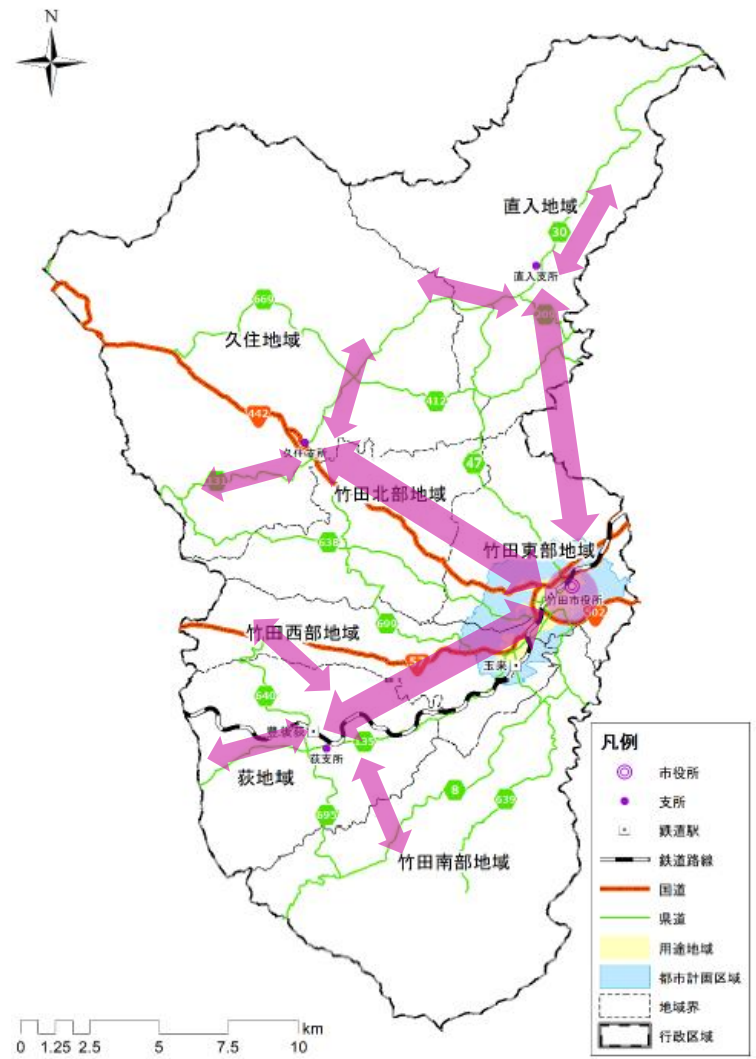
⑤車・バス・タクシーが交錯



⑥城下町へのルートが分かりにくい



課題を解決し「使える駅前」にすることで、将来を見据えた
人流の基盤を整えることができる



第1章まとめ

- ・ 駅は、人の流れを生み出すための結節点であり、玄関口
- ・ 結節点・玄関口として改善の余地がある現状
- ・ 駅を核とした「人の流れ」が、将来まちの持続性を支える
- ・ 国の財政支援がある、「今」が整備のラストチャンス

第2章

- ・なぜ、いま、駅前整備なのか
- ・実態から探る整備の方向性
- ・具体案
- ・今後、市民の皆さんの力を貸してほしいこと

令和7年度に策定した「基本計画」の内容をお伝えします。

駅前整備の全体像を具体化する

令和7年度に、駅周辺において「必要な機能」「必要な規模」をまとめた「基本計画」を作成

どうやって まとめた？

⇒まずは、①～③をおこない、実態を把握

①アンケート調査

R5

市民アンケート（高校生含）
（回答181）

R7

駅利用者アンケート（回答11）
中学生アンケート（回答205）

②ワークショップ

R5

テーマ：駅の課題・改善案
（参加20名）

R7

テーマ：日常、非日常でどんな
使い方をしたいか？
（参加19名）

③交通量調査

R7. 9月実施

ロータリー
駐車場
駐輪場
の交通量、歩行者数を調査

①アンケートと②ワークショップ で多かった声

- ・ 日常の利便性・快適性
- ・ にぎわいの創出
- ・ 竹田市固有の景観や歴史文化に配慮
- ・ 城下町との連携を重視

※アンケート概要

R5.月市民アンケート(高校生・保護者含)

N = 181

R7.11月駅利用者アンケート

N = 11

R7.11月中学生アンケート

N = 205

※ワークショップ概要

R6.1月実施 (城下町交流プラザ)

テーマ: 駅の課題・改善案について

N = 20

R7.10月実施 (城下町交流プラザ)

テーマ: 日常・非日常の駅前の使い方

N = 19

◆そのほか、こんなご意見をいただきました

市民アンケート

- ・ ちょっとした休憩や待ち合わせ
- ・ ベンチや日よけなどの快適な空間
- ・ 子どもが遊べるスペース
- ・ イベントができる広場
- ・ キッチンカー・マルシェ
- ・ 水や緑を感じられる空間
- ・ 駅と城下町をつなぐ仕掛け
- ・ 歴史や文化を感じられる空間

中学生・高校生

- ・ 飲食・休憩できる場所
- ・ ベンチや日よけなどの快適な空間
- ・ テーブルで作業できる場所
- ・ キッチンカー・マルシェ
- ・ 多世代交流できる空間

ワークショップ

日常の使い方: 休憩・飲食・学習・交流・散策の場
非日常の使い方: マルシェ・体験・イベントの場
景観: 名水・駅舎・滝・歴史文化を活かす

③交通量調査で分かったこと

※実施概要

R7.9.17 5:00~20:00 実施

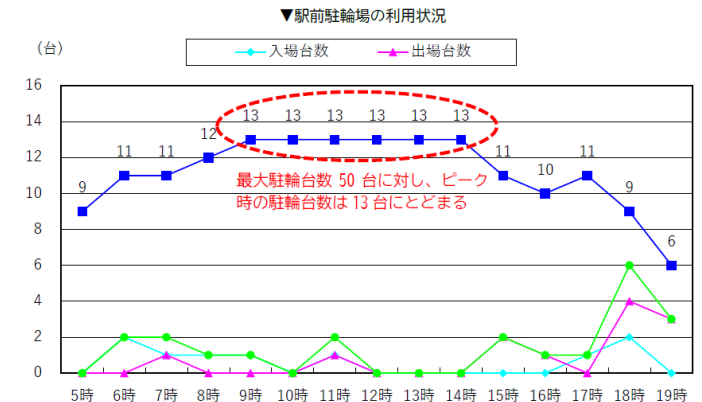
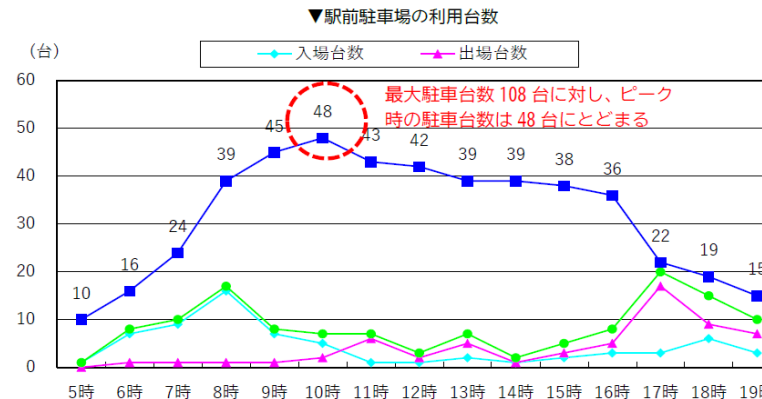
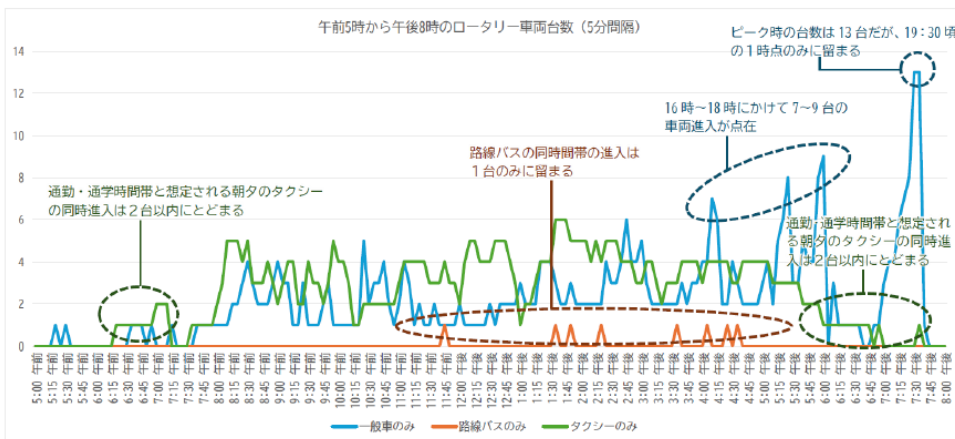
ロータリー

駐車場

駐輪場 交通量、歩行者数を調査

(分かったこと)

- ・夕方～夜にかけロータリー内で混雑が発生
- ・駐車場の容量に見合った機能を果たしていない
- ・駐輪場は実態に見合った規模に見直す必要性



第2章まとめ（駅前整備の概要）

- ・ロータリー内の安全性・利便性の向上
- ・駐車場への誘導策に力を入れ、拠点として機能させる必要
- ・利便性と将来性を考慮した規模の検討
- ・日常・非日常の使い方 両方を検討
- ・景観と地域性（竹田らしさ）の演出
- ・まちとのつながりを意識した整備

第3章

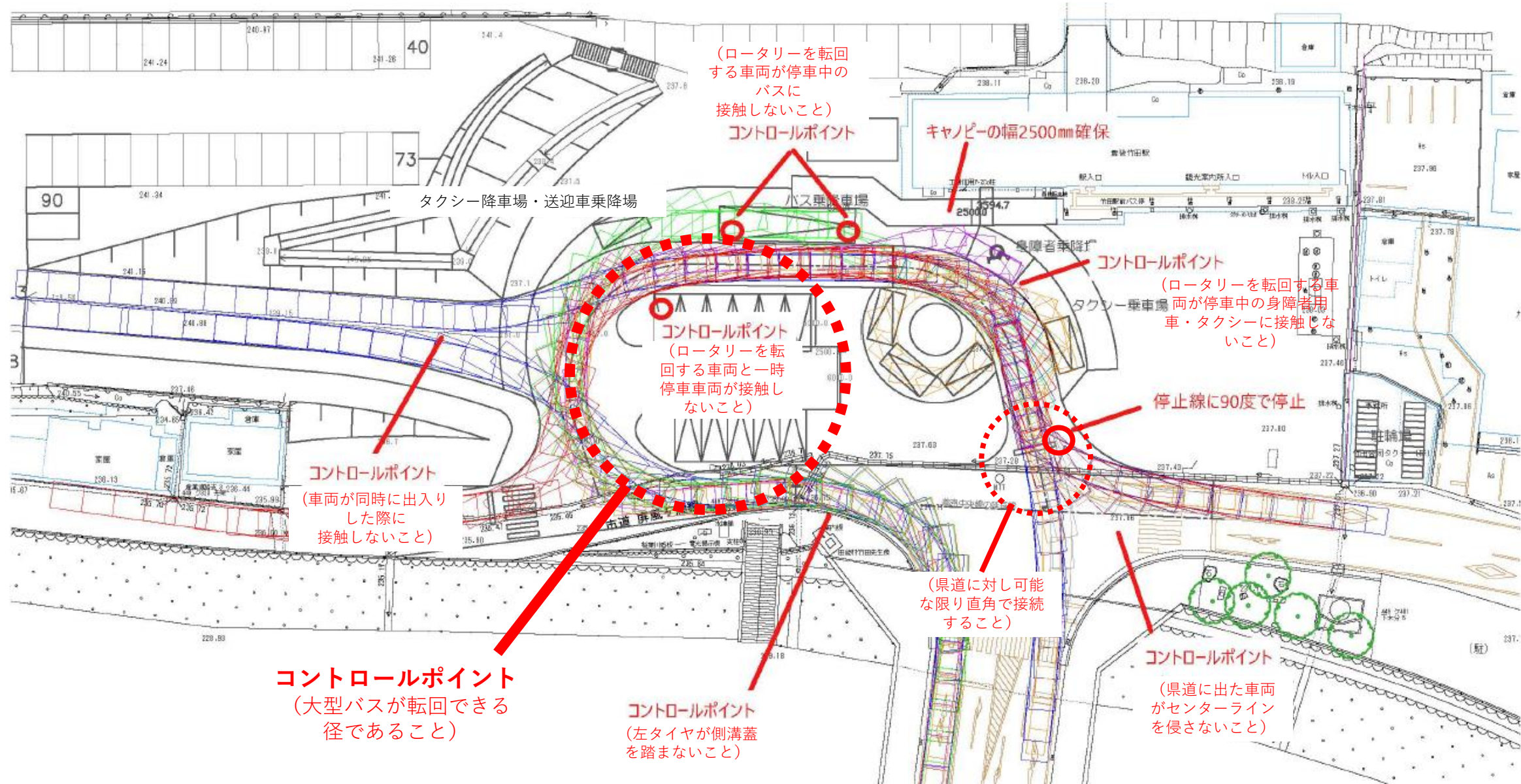
- ・なぜ、いま、駅前整備なのか
- ・実態から探る整備の方向性
- ・具体案
 - 3－1 交通空間（仕様・制度）
 - 3－2 環境空間（竹田らしさ・実用性）
- ・今後、市民の皆さんの力を貸してほしいこと

具体的な案をいくつかお伝えします。

交通空間の配置で重視する点

⇒ 「安全性」 「大型バスの転回」

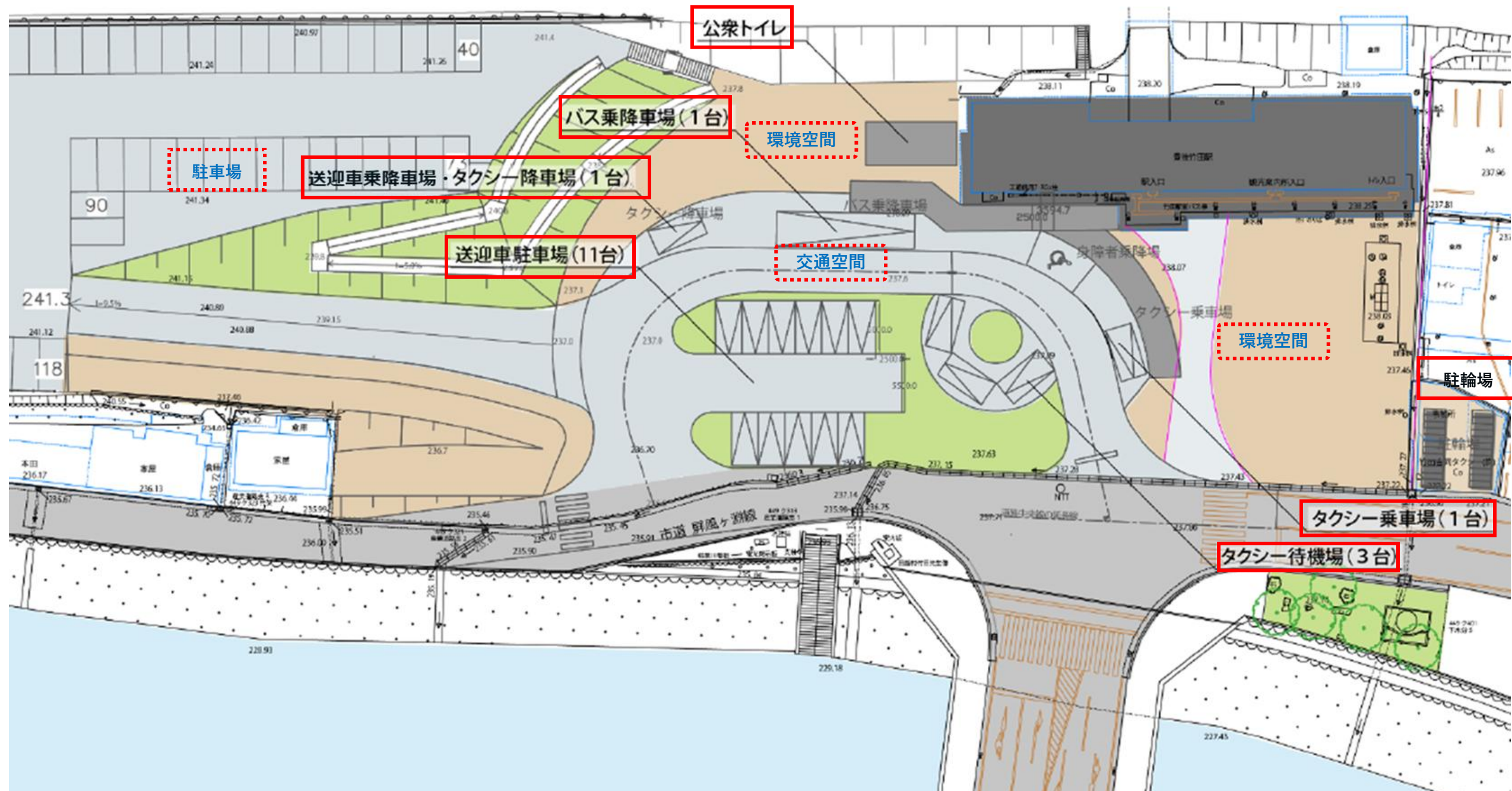
※コントロールポイント…問題の発生を防ぎ、質の担保をするために欠かせない基準点



交通空間（ほぼ決定）

種類	規模	備考
バス停	1 台分 (乗降)	大型バスも転回可能
タクシー乗降場	1 台～2 台	
タクシープール	3 台	1 台×3 社で3 台分を確保
一般車一時停車場	8～13 台	
駐車場	96～ 117 台	他の中心市街地活性化施策との整合のため、今後関係機関と協議が必要。
駐輪場	25 台程度	
グリスロ等駐車場・発着場	必要台数	必要性や規模について検討が必要
パーソナルモビリティ等駐車場・発着場	必要台数	必要性や規模について検討が必要

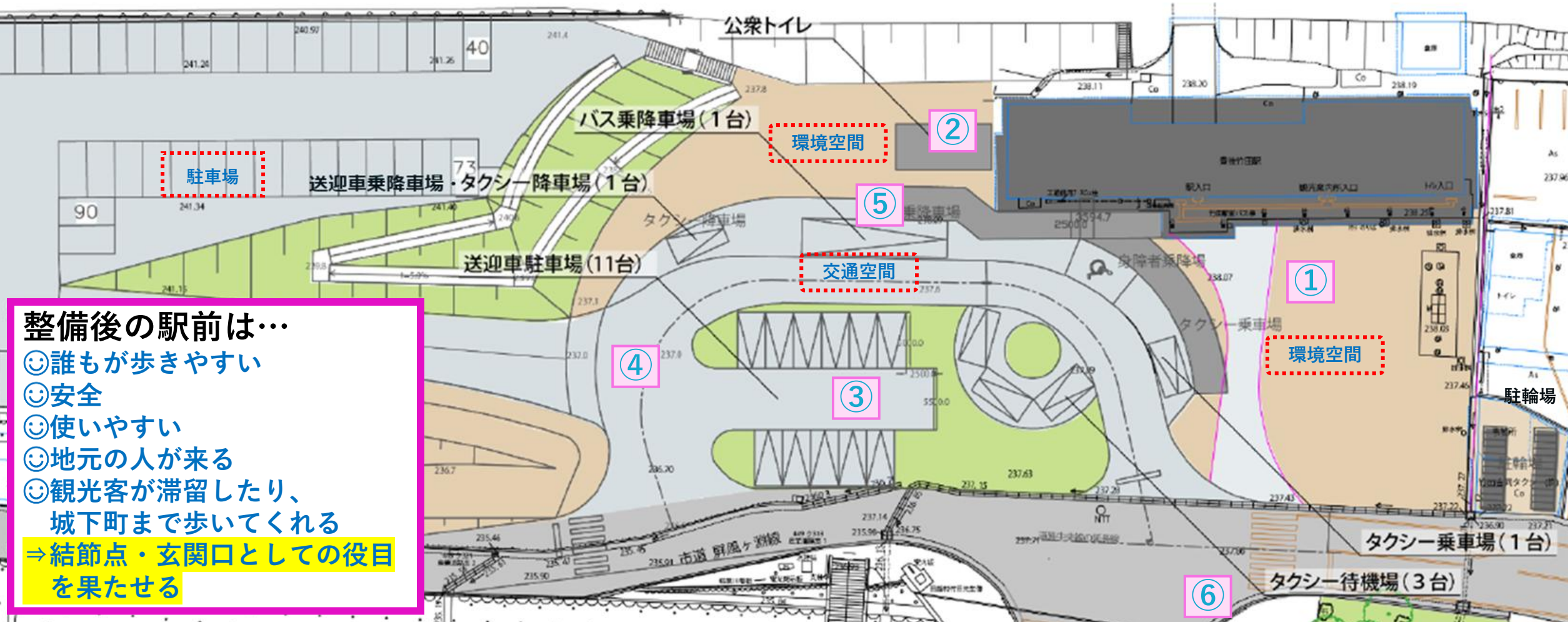
機能の配置



環境空間（これから決める）

機能	導入を検討するもの	規模（案）	備考
交流・滞留機能	ベンチ・テーブル		仮設含め検討
	日よけ・雨よけ		仮設含め検討
	キッチンカー スペース		民間事業者との連携
景観機能	銅像や石材		竹田の歴史や文化を感じられる空間
サービス機能	案内板	1 基	
	公衆トイレ	男性：小 2 大1 女性： 3 多目的： 1	障がい者等の関係団体へヒアリング予定
	授乳室	4 m ² ～ 2 0 m ²	
	通路屋根 （キャノピー）	幅2.5～3.0m	
	レンタサイクル 駐輪場		グリスロやパーソナルモビリティも含め 検討
防災・安全 機能	照明	～ 2 5 基程度	
	防災設備	要検討	防災ベンチや災害対応トイレも含め検討

整備後の駅前はどうなるか



整備後の駅前は…

- ☺誰もが歩きやすい
- ☺安全
- ☺使いやすい
- ☺地元の人が来る
- ☺観光客が滞留したり、城下町まで歩いてくれる

⇒ 結節点・玄関口としての役目を果たせる

①安全性の高い歩行者ゾーン



②設備を更新しバリアフリー空間へ



③一時停車場確保



④使いやすいロータリー・駐車場



⑤安全な車の流れをつくる



⑥城下町との連続



第3章

- ・なぜ、いま、駅前整備なのか
- ・実態から探る整備の方向性
- ・具体案
 - 3－1 交通空間（仕様・制度）
 - 3－2 環境空間（竹田らしさ・実用性）
- ・今後、市民の皆さんの力を貸してほしいこと

環境空間の具体案を考える際の 2つの視点



①見た目

(竹田らしさ)



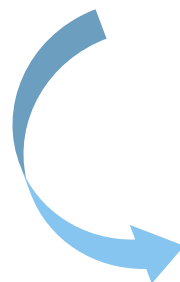
②実用性・将来性

竹田らしい景観って？①

竹田市景観計画 「城下町における景観形成の方針」

- ・ 城下町の歴史的風致を活かす
- ・ 商業の中心地区として伝統と歴史を重んじる
- ・ 居住環境を向上する
- ・ 地域住民が誇りを持って暮らせるまち
- ・ 賑わいと落ち着きが共存する町並み景観

具体的には…



地形を活かした景観形成を図る



広瀬神社からの眺望景観

近世からの町割を守り活かす



ヒューマンスケールの通り



情緒ある歴史的な建物と石畳

各時代の建物の良さを将来に引き継ぐ



江戸時代の建物



大正時代の建物

竹田らしい景観って？②

市民アンケート・ワークショップ意見を「**見た目**」で分類

地域の歴史・文化

竹田の伝統の色・模様・素材

竹田のアートを取り入れる

歴史・文化を感じるアクセント

写真スポット

水や緑（自然）

駅舎や岩壁と調和するアースカラー

視界を邪魔しない低背デザイン

自然と調和するパークレット

水景

写真スポット

シンプル・機能特化

景観を阻害しないシンプルな外観

見通しのよい舗装

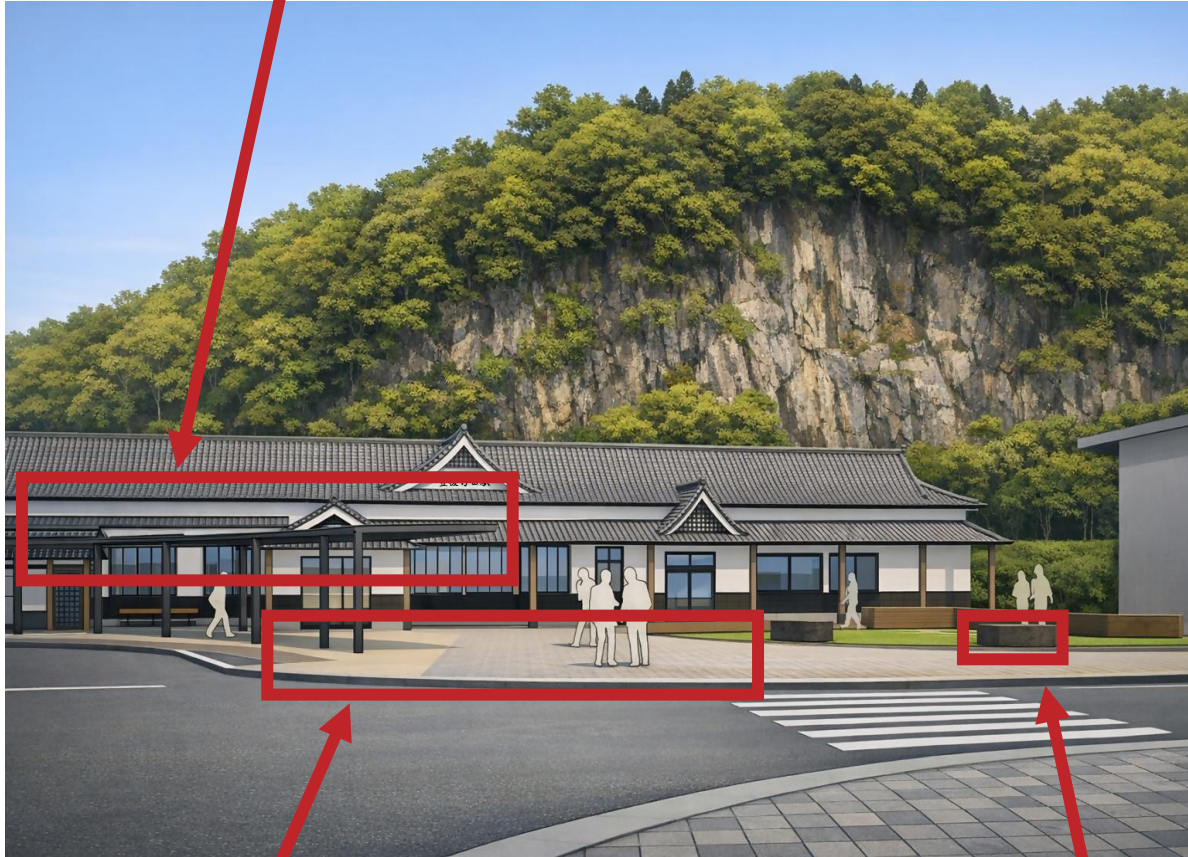
最低限の緑

ゆとりのある空間

豊後竹田駅の整備後のイメージ①（一例として）

駅舎や岩壁の景観を阻害しない通路屋根

昼



憩い・飲食など汎用性の高い空間
景観とマッチした舗装
高さを抑えた設備配置

石材利用ベンチ

夜



足下灯などの夜間照明

実用性・将来性って？

市民アンケート・ワークショップ意見を「**使い方**」で分類

観光・景観を魅せる

歴史・文化の紹介
周辺部への観光案内
分かりやすい二次交通の動線
アート作品の展示
稲葉川の音を感じられる配置
おもてなし
回遊を促す仕掛け

日常の滞在・

休憩や交流の場

ベンチやテーブル(休憩・飲食・学習)
キッチンカーの出店
日差しを避けられる設備
電源やWi-Fi付のテーブル
防災機能

にぎわいの場

キッチンカーが出店できるスペース
マルシェが開催できるスペース
普段は広々・フラットな舗装
飲食できるスペース
日差しを避けられる設備

豊後竹田駅の整備後のイメージ②（一例として）

キッチンカーを配置（中央）



キッチンカーを配置（端）



より実用性・将来性があるのは???

第3章 まとめ

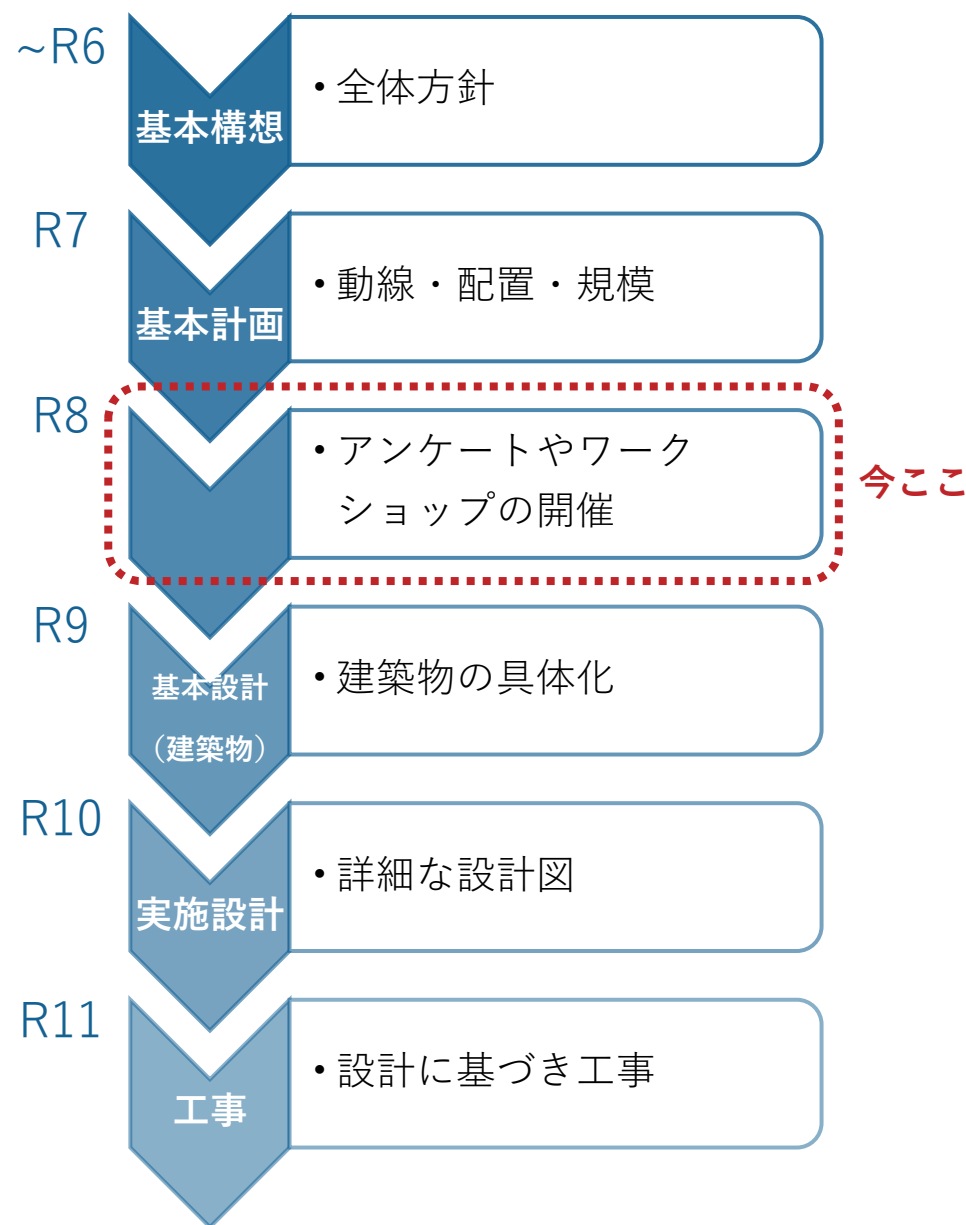
- ・ 交通空間の規模と配置は、ほぼ決まり
- ・ 環境空間の規模と配置は、これから決める
- ・ 駅前を核として人の流れをつくる（維持する）ことが目的であり、整備はその「手段」。
- ・ **どんな風に整備・活用すれば効果（人の流れ）を最大限にできるか**

第4章

- ・なぜ、いま、駅前整備なのか
- ・実態から探る整備の方向性
- ・具体案
 - 3－1 交通空間（仕様・制度）
 - 3－2 環境空間（竹田らしさ・実用性）
- ・今後、市民の皆さんの力を貸してほしいこと

みなさんの声を、聴かせてください。

今後の進め方



◆今日したこと

- 基本計画の共有
- 整備の方向性に関する市の考え方をお伝え

◆これからすること

- まちあるきワークショップ（仮）の開催
- 各種団体へヒアリング

→ 集め、分析して、まとめる

⇒ だんだん具体的な「見た目」「使い方」へ

⇒ 設計へ反映

- ・ 駅前整備は「目的」ではなく「手段」
- ・ まち全体のための駅、中心市街地のための駅
- ・ ここをどう活用すればいいか、皆さんと一緒に考えたい！

ご清聴ありがとうございました。

本日の説明において、

- ・ 疑問点
- ・ ご意見
- ・ アイデア

などがございましたら、お聞かせください。

※右の二次元コードからも送れます。



人の流れをつくり、中心市街地を再生する

中心市街地で展開する施策について

中心市街地の役割

医療・商業・金融・行政サービス・文化施設・店舗・歴史資源が集積
＝生活利便性に直結 & 来訪者が回遊できる環境が既にある



持続するためには、人の流れをつくり、維持する必要がある



各種施策
を展開

- ・ 観光交流拠点の維持・整備
- ・ 公共交通の充実
- ・ アクセスしやすい「結節点」「玄関口」の形成
- ・ 商店街の活性化
- ・ 歴史文化の継承と活用
- ・ 合併浄化槽の設置促進（生活基盤の整備）

中心市街地を持続させるための施策①

花水月再生（観光交流拠点）の現在の取り組み

竹田温泉花水月の再生に向け、「公共施設オープンリノベーション・マッチングコンペティション」を実施しています。

このコンペティションは、行政があらかじめ施設の設計や運営方法を決める従来の方式ではなく、温泉施設の運営やリニューアルの実績を持つ民間事業者から、自由な発想による再生プランを募集する新しい取り組みです。

応募事業者には、温泉やサウナ、飲食、宿泊機能、地域との連携などを含めた「新しい花水月」の将来像を提案していただきます。市は、最も優れた提案を行った事業者と協力しながら基本構想・基本設計を進め、市民に長く愛され、持続可能な温泉施設の実現を目指します。

マッチングコンペティションと並行して市民利用者アンケートを実施しています

「こんな温泉ならもっと利用したい」「こんな施設やサービスがあったらいい」など、市民や利用者の皆さまのご意見を募集します。いただいたご意見は、花水月の再生・リニューアル計画に反映し、これからの施設づくりに活用します。

回答方法 二次元コードまたは花水月受付設置のアンケート用紙

あなたの想いが、新しい花水月をつくれます。

花水月再生・リニューアル
アンケート実施中



公共施設オープンリノベーション・マッチングコンペティションとは？

民間のアイデアとノウハウを活かして、「使い続けられる公共施設」をつくる新しい仕組みです。

従来の整備方式

市が設計・整備し、完成後に運営を検討



建物をつくるのが目的に
なりがちで、使われ続ける
施設になりにくい

公共施設オープンリノベーション・マッチングコンペティションの仕組み



運営の視点を最初から取り入れることで、
「使い続けられる施設」を実現！

市のメリット



民間事業者のメリット



花水月でのイメージ(例)

民間事業者から、自由な
アイデアを募集！



市は、最も実現性・魅力の高い
提案を選び、事業者と一緒に
施設を再生します！



目指す姿

公共施設を「建てる」ことではなく、「使い続けられる施設」として再生すること。
行政と民間が、それぞれの強みを生かしながら、設計・整備・運営まで一体となって取り組むことで、
市民に長く親しまれ、地域経済にも貢献する公共施設を実現します。

人が集まり、地域が元気になる
持続可能な公共施設へ！



中心市街地を持続させるための施策②

公共交通の充実



直近で進めている取り組み

- 1 観光需要にも対応した移動手段の検討
例：観光客向けニーズ調査、
目的地との意見交換



- 2 ゾーン制運賃のPR ～新たな利用の促進～



今後、皆さんと考えたいこと



＼ JRさん、ターゲットとなる住民と ／
結節点（駅・バス停）の魅力を高めるアイデア
（「駅の存在意義、駅に来るきっかけ」づくり など）



＼ 商店街振興組合・商工会議所さんと ／
お出かけ先としての魅力向上
（公共交通でまちなかにきた市民への特典など）



＼ 飲食業・宿泊業のみなさんと ／
夜間タクシー減少 新たなアイデア
（市民が安く泊まれる宿泊プランの検討など）

中心市街地を持続させるための施策③

商店街の活性化

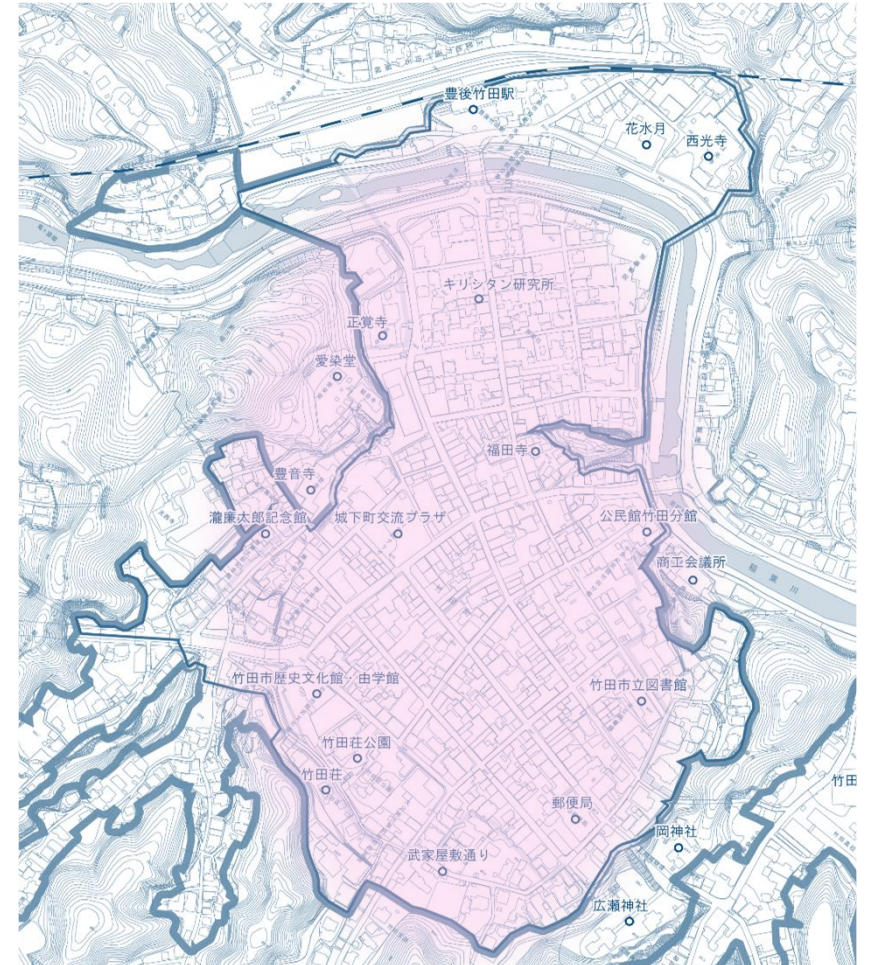
- 城下町賑わい創出
- 空き店舗活用
- 創業支援
- 事業承継支援
- サテライトオフィス誘致

中心街地活性化ビジョンに係るアンケート実施中

「こんなことをしてみたい」

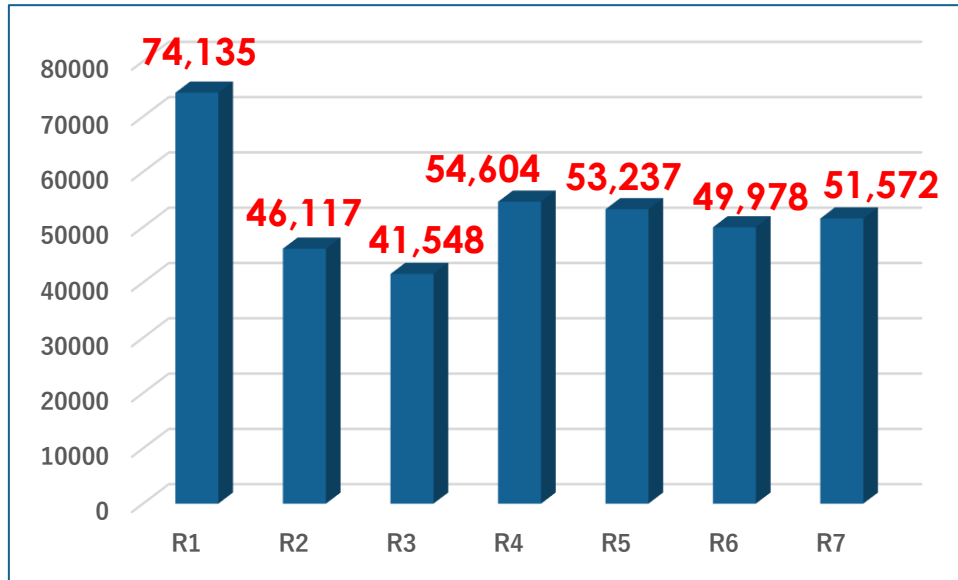
「自分ならこんな形でかかわってみたい」

アイデアやご意見をお聞かせください



中心市街地を持続させるための施策④ 歴史文化の継承と活用 ～岡城跡の現在～

○岡城跡の入場者数の推移



岡城跡の魅力再構築（来訪者の満足度向上） × 情報発信の強化

- ・二の丸跡に便益施設（トイレなど）。
- ・眺望の確保と石垣の見える化
雑木・竹の伐採
➡絶壁上に連なる石垣を見せる
- ・登城バス
- ・主要観覧路の舗装
- ・防災、安全対策
- ・物販の充実化・・・御城印
- ・キャッシュレス決済の導入

- ・岡城跡公式ホームページ
- ・同 公式Facebook
- ・同 公式Instagram

- ・城内フリーWi-Fi
- ・新パンフレット
- ・城内サインの整備
- ・城下町パスポート（共通券）



ARガイドアプリ『岡城時空散歩』

- ・岡城跡での特別な体験を演出するための仕掛け
- ・岡城跡への理解向上



CGで建物を復元 多言語対応



市史跡「御客屋敷」の公開活用×カフェ
— 三日月珈琲焙煎所・月鐘樓の挑戦 —



- 御客屋敷とは？
 - ・他藩からのお客様の宿泊所。
 - ・文化7年(1810)には伊能忠敬も宿泊。
- 三日月珈琲焙煎所・月鐘樓
 - ・指定管理者制度による公開活用。
 - ・カフェ、軽食、珈琲
 - ・地域の歴史文化に着想したオリジナルメニューの展開
 - ★荒城の月カレー
 - ★城壁プティング など



ランチ、軽食、小休憩、
打ち合わせなどに
ぜひご利用を！

- 今年でオープン7年目。
 - ・岡城ガイドス(豊後岡城物語)
 - ・特別展(企画展)の展開
 - ・旧竹田荘とセット
 - ・市民ギャラリー
 - ・ワークショップの開催
 - ・これまで“8万人”超が入館した



竹田市歴史文化館・由学館

豊後竹田駅長おすすめのカレーがエントリー！

2026 駅長対抗 総選挙 目指せ門司港！

JR九州の駅長が今年は熱く華麗に闘う！

大好評企画 第3弾!!

店舗で駅長のカードがもらえる!!

詳しくはこちら

予選投票、決勝イベントのご案内、投票方法など詳しくは専用ホームページをご覧ください。

JR九州 駅長対抗

2026 9.1 - 10.12

2026 11.28

前回の総投票数 約50,500票!!

43 荒城の月カレー 1,500円

築約200年の趣ある空間で味わう、竹田を感じる一皿。

瀧廉太郎ゆかりの岡城址を一皿に表現。卵を満月、ご飯を城壁に見立てた、おいしい和牛100%のビーフカレー。調合スパイスの豊かな香りとじゅわりと広がる深い旨みを楽しめる。

【三日月珈琲焙煎所 月鐘樓（ミカツキコーヒーバイセンジョ ゲッションウロウ）】

住所 / 大分県竹田市竹田町486-1

電話番号 / 090-4757-2851

営業時間 / 11:00～17:00 (LO 16:30)

定休日 / 水・木曜

アクセス / JR豊後竹田駅から徒歩約7分

Google map Instagram

「歴史の道」を歩こう！

歴史の道・・・旧城下町の散策ルート

- ・豊後竹田駅と岡城跡をつなぐルート。
- ・史跡・博物館・記念館が分布、歴史に触れながら城下町をぶらり散策することができる。
- ・S54～H10・・・歴史の道整備事業(舗装など)

(現状) ・認知度の低下、情報発信の不足
・十分に活用されていない

(方針) ・歴史の道の再構築と磨き上げ
・観光、教育、健康分野で活用を。

- ・ルートの見直し
- ・説明板の更新とデザインの統一
- ・冊子「歴史の道」の更新
- ・デジタル技術の導入
- ・商店街、各店舗との連携
- ・駅周辺整備事業との連携・・・スタート地点
- ・ガイドの育成と連携



中心市街地を持続させるための施策

合併処理浄化槽（生活基盤の整備）

生活インフラ整備、清潔で快適な水環境を実現

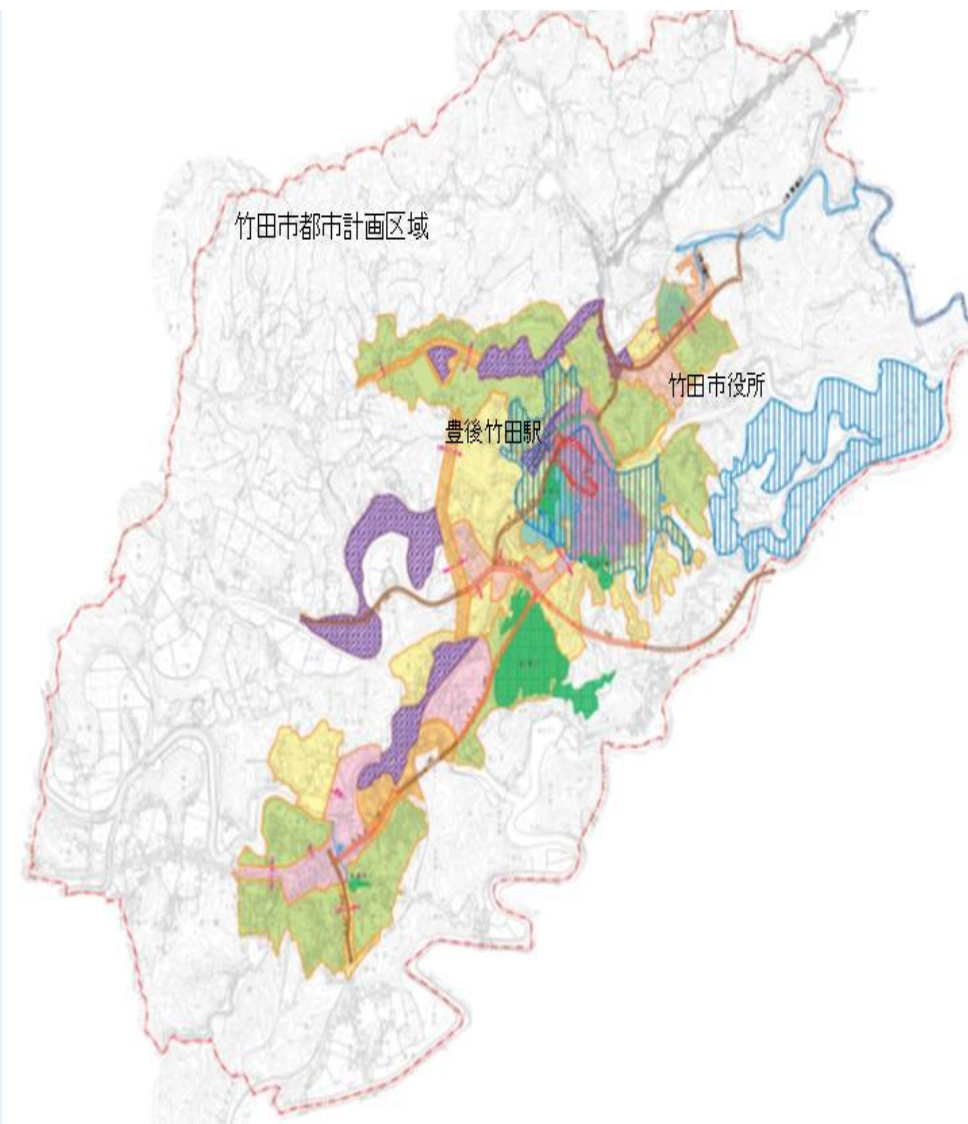
合併処理浄化槽転換に係る市独自の補助金
（都市計画区域内の店舗・宿泊施設・集合住宅用）

人槽区分に応じた補助金

5人槽 332,000円 ～ 51人槽以上 2,326,000円

実施件数・・・R6…1件 R7…2件
R8…複数問い合わせあり

ご意見・ご質問等ありましたら上下水道課
までお気軽にご相談ください



まとめ

- ・ 人口減少・高齢化が進む中で、生き残るための戦略が必要
- ・ 中心市街地を「暮らしの拠点」として維持する
- ・ 中心市街地を「回遊できるまち」として交流人口の増加を図る
- ・ 複数の施策を連動させながら、中心市街地活性化を面的に進める